

小笠南地区 市政懇談会

日時 平成 19年 7月 12日 19時 30分から

会場 河東構造改善センター

参加者数 85人

懇談 (質疑応答)

東河東 男性

お寺の前の開墾事業に協力し、平成 5年ごろ道路ができました。うちに入る道も必ずやるよということになっている。補助金が出ていると思いますが、必ず土木事業でやりますよということになっていました。地域の地権者の方も陳情してくれて、合併前に報告があり、2番目か3番目の事業に入っているということだが、最近は聞いても分からない、知らないとの話しかありません。本当のところはどうなっていますか。125号線と128号線、125号線は高橋のメイン道路ですので出来ましたが、128号線は昔は普通車が入れましたが、今は普通車も入れません。

建設経済部長

場所は中西のモーターズを南に入って、東に道路が曲がっていますが、それを真っ直ぐ行ってお寺に入る道のことですね。和尚さんからお話を伺い急いで調べたところ、35年前、昭和47年から48年にかけて開墾をやらせていただきました。そのとき時の話のなかで、あそこの道路をやるよというお話があったとのことですが、その当時の書類を捜してみましたが、大変恐縮ですが既に廃棄処分がされており、残ったものはありませんでした。詳細については分からないのが実態です。この道路について農林課の土地改良係に問い合わせたところ、小笠町当時に確かにその話が出ていたことは確認できました。今そこを事業化するための最短の方法として何が出来るかを担当課と相談しますと、南地区の土木委員さんが、南地区で道路改良とか、排水路とか、農道とかを取りまとめ、何番目に上げるか調整してくれて役所に出してくれます。そういう仕組みの中で仕事をやらせていただきますので、今のお話の件についても南地区の土木委員さんと相談していただき、市単独事業として申請いただきたいと思います。

東河東 男性 (再質問)

これは平成 5年です。35年は向こうに道路がつながっていますので、その後の平成 5年か6年頃の話です。中西の道路が出来た時の補助金は、どこへ使われていますか。

建設経済部長

すいません。平成 5年の時の話は、確認しておりませんので、今日はお答えができません。

ません。

東河東 男性 (再質問)

なぜかといいますと、うちの方に一番多く来られる時には、300人から500人が来られる時が2回位、子供さんが100人の時もあります。鉄塔の点検道路にもなっていますし、向こうでなにかあった時にも、ここしかありませんので、もし災害があった時には困ると思います。補助金は平成4年か平成5年、真中のメイン道路が出来た頃のことだと思います。

建設経済部長

その部分を調べてみます。何れにしても、市単独事業に乗っけることが最良の方法だと思いますので、是非、地元の土木委員さんと相談して下さい。

河東中 男性

MOX燃量、いわゆるプルサーマルに係ることですが、1週間位前に経済産業省が認可するというので、あとは地域の了解が得られるかどうか、その段階になったと理解をしていますが、それが出来た場合、この地域は原発に近く特別な交付金が得られていますが、その区域というものは、4号機でプルサーマルを使うと思いますが、その区域は変わるのか、金額は変わるのか、それがまず一点。原発に関して、新聞紙上とうで等よく言われていますが、捏造だとか、うそが非常に多い。昨年8月、市役所の献立で、原発の羽根が折れた時ですが、見る機会を得ましたのでそれにも行きましたが、その時もあそこで私も質問しましたが、そういうものが今までも多かった。少なくとも浜岡原発ではそういうことがないでしょうねと念押しをしましたが、それから直ぐに、全国の原発で捏造だとかそういうものあちらこちらで行われてきた、不信感が強いわけです。臭いもしない、見えない、色もわからない、非常にわからないことが多い。そうかと言って見せてくれといってもできません。携わっている方を信用するしかないですが、信用できません。市長はその辺をどうお考えですか。

先ほど予算の説明の中で、特別会計約187億円の中に、下水道が12億円、上水道が18億円と資料がのっていますが、下水道については旧小笠町ではやられていないと思います。菊川駅周辺に集中しているのではないかと思います。今後それについてどうやっていく、旧小笠町ではいつ頃からやられていくのか。それについて計画はどうなっているか説明ください。

税収未納が非常に多いと資料に書いてありますが、主な滞納者はどういう人が滞納になっていますか。この地域も外人さんが家を建てて住む人が増えていますが、そういう人が多いのか、それとも一般的にそれに関係なく出ているのか。

その3点について回答をお願いします。

市長

原発の交付金ですが、基本的には旧町の交付金の条件でやっていますので、まち

が変わったからということではありません。基本的には今までの区域の中の交付金対象となっています。例えば、電気料がありますが、合併しましたが旧小笠町の皆さんは電気料の還付はありますが、合併したから旧菊川町にもあるかといいますと、旧の条件ですのでそのようなことはありません。

2点目の中電との信頼関係ということですが、当然これは、中電と県と国と協議する中で取組んでおります。プルサーマルの話も出ましたが、プルサーマルは先日、国の設置許可が出たばかりでありまして、正式には私どもは説明を聞いておりません。したがって、その説明を聞くなかで、市民の皆さんにも、プルサーマル問題につきましては、シンポジウムをやったり情報を出したり、そして市民の皆さんの理解をいたくなかで、このプルサーマル問題については、今後考えて行きます。

安全問題につきましては、平成14年以前の色々な事故につきまして、情報公開の基準がまちまちであったことから、電力会社により差異がありましたが、中部電力におきましては、その点は他の電力会社に比べれば情報は出ていると判断しております。しかし、安全と安心は大事ですので、これからさらに情報を出していただくなかで、市民の皆さんに信頼を持ってもらって、安全な原子力行政をきちっとやっていただきたいと思っております。

下水道の関係ですが、菊川の下水道は平成11年から下水道事業の認可をもらい着手しておりまして、8年目に入りました。下水計画は、公共下水道、合併浄化槽、そういったものが下水の主なものであります。また、農村集落排水とか、色々な水質浄化がありますが、やり方につきましては、庁舎内でこれから河川環境、住環境整備のために、これから菊川市としてどのような下水計画をして環境整備をしていくか、19年度、20年度にはきちっと出しまして、これから市民の皆さんに出しまして、市民の皆さんにもお話しして、説明していきたいと思っております。旧小笠町では下水計画を立てていましたが、まだ事業には着手していません。言われましたとおり、下水は加茂周辺あたりと、あそこから北へ上がったところの区域です。

滞納については幅広く色々な方に滞納があります。外国人のお話がありましたが、金額ではなく件数で言えば、外国人の滞納者も確実に増えていることは事実です。私どもも公平、納税する義務、徴収しなければなりませんので、市民の皆さんからきちっと納税していただくよう、これからも取組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

河東中 男性 (再質問)

プルサーマルが出来た場合に、交付される区域とかが変わってくるとか、その辺も全然分らないのか。前に四国の方で選挙も関係して作りたいと言って候補者の方が落ちたということがありましたが、あの時は調査するだけで何億だかのお金が、国から下りるとのことがありましたが。

市長

四国の件は処理施設です。核燃料を処理するところですから、住民の方が反対だったから、その計画は無くなったわけですが、それはプルサーマルでなく核燃料を処理するところの話です。今、話のありましたプルサーマルの交付金についてはどうかと言うことですが、まだ、私どもはプルサーマルをどうするかということで、交付金はどうなるのか、どこどこへいくらとか、そういったことの話し合いにはまだ乗っていません。基本的には、率は分りませんが、昔の交付金要綱によって交付されますので、市が広くなったから、それが広がってしまうということは、ないと理解しています。

河東西 男性

溺川池の西からの入り口ですが、昨年ゴミをだいが捨てられて市としても困ったと思います。草を土木の方が見てくれて、刈ってくりょうということで、去年はガソリン代を出してもらったわけですが、また今年もそんな状態になってはいけないと思い、その道路のところから畑の間を今年も刈りましたが今年もガソリン代はどうかねと言ったら、市としてやると刈らなくてはならないところがいくらもあり対応出来ない、関係者に話をしてくれと言われた。溺川の池の関係もありますので、支所にも話をしましたが、それ以降全然話がないわけですが、どうなっているのか。また、うちの畑より西は竹やぶで、全然通れない状態、昔はダンプも通った5m道路、それが全然通れないような状態になっています。うちの畑までは刈っていましたが。土木からも話があったのではないかと思います。その辺の話をしてもらいたい。

市長

後で調べて……。

河東西 男性 (再質問)

建設課に話が行っていると思うが。

建設経済部長

建設課から、具体的な話を聞いていませんので、この場では何とも申し上げられません。後日、建設課と小笠支所と一緒に、現場を見させていただきます。建設課に行きまして確認して対応いたします。

高橋口 男性

私の組内へ、新築された外国人、ブラジルの方なんです。この頃になりまして、両近所の方から困ったやーあと言うことが2,3ありまして、なんとかと常会で言われましたが、こういった問題を取り扱ってくれる窓口があるのかお聞きします。

市長

基本的には自治会の皆さんの窓口は地域支援課、あるいは支所では市民福祉課が、自治会の皆さんの窓口となっています。外国人の方には教育の関係とか色々ありますので、一度本庁の地域支援課に電話をいただければ、対応いたしますので、

お願いします。

南ニュータウン 男性

菊川市の10年、20年後という目標を持って進めていかれると思いますが、10年、20年経つと、今生まれた子どもが、20歳という年齢になり、立派な社会人になっているわけです。合併して2年7か月経ちますが、この2年7か月の間に、中小企業、大企業が何社来られたか。また、これから長い年数の間に、大企業、中小企業が導入され、人口が増えて、プラスになるよう、企業導入に対して、将来の計画があったら聞かせて下さい。

市長

合併してからどのような企業が来たかということですが、記憶の中で間違っていたら申し訳ありませんが、菊川市には工業団地がいくつかあります。しかし、残念ながら導入する土地が十分にありませんので、今までは積極的に企業導入への取り組みが出来なかったのは事実です。そういうなかで、昨年、一昨年辺りから、何箇所かを工業導入地区として計画をたてて、企業の皆さんが何年間位で、いくらくらいであれば来てくれるのか、あるいは雇用の問題とか、色々な問題を分析しながら、工業導入に向けての対策を練っています。一方でたくさんの企業からの引き合いが来ておりますので、今後はきちっとそれに対応出来るよう進めてまいります。一方では土地のしぼりがあり、どこでも工業導入地区にするというわけではありません。規制があるところがありますので、それは地権者の皆さんとか、国とか県とかと協議して、これから進めていきたいと思っております。私が知っているなかでは、新しい会社としては、メッシュの会社とか、もう少し小規模な会社とか、いくつか進出していただいておりますし、2、3年前には、2部上場の会社がこちらに本社を持ってきていただいたり、2部上場の会社が20数億円の設備投資をしたりということで、ここ2、3年では、企業の活発な動きが出ていると認識しています。